

# 2025年通常聖年

会期 2024年12月24日 ▶ 2026年1月6日



テーマ

## 希望の巡礼者

聖年が、わたしたちの信仰を強め  
復活のキリストを生活のただ中に見出す助けとなり  
わたしたちキリスト者を希望に満ちた巡礼者に  
変える力となりますように。

教皇フランシスコ

### <聖年とは>

聖年は英語で Jubilee と呼ばれますが、その由来は Jobel (ヨベル) の年です。レビ記の規定には、畑を6年使って7年目は休耕とし、その7年を7回(7は聖なる数字)繰り返した後、「五十年目の年を聖別し、全住民に解放の宣言をする。それが、ヨベルの年である」(レビ記 25:10)とあります。この年には、土地は原則として所有者に返され、負債は免除され、奴隷は解放されるなど、言わば大恩赦の年でした。だからこそ、聖年は何よりも「解放の年」なのです。

キリスト教の時代になり、聖地への巡礼と100年ごとの聖なる年という考えが加わり、歴代の教皇たちが聖年の規定を整えていき、1500年に教皇アレクサンデル6世によってローマの四大バジリカの聖年の扉を開く式が始まりました。基本的には二十五年ごとに(通常聖年)祝われますが、〈2015年いつくしみの特別聖年〉のように、特別聖年が設けられることもあります。

教皇はサンピエトロ大聖堂の聖なる門を開き、年の終わりに聖なる門は閉ざされます。2025年の聖年は、2024年12月24日のサンピエトロ大聖堂の聖なる門が開かれて開始され、2026年1月6日にこの扉が閉じられて閉幕します。地方教会では、2024年12月29日に開幕、2025年12月28日に閉幕することとされています。

### <教区の取り組み>

教区での聖年の取り組みとして、各地区に巡礼指定教会を設置しての巡礼を推奨いたします。聖年のテーマである「希望の巡礼者」にならい、2023年に新しく動き始めた大阪高松大司教区の巡礼指定教会を訪ねてください。新しい出会いや発見の中から聖年のお恵みにあずかりましょう。

### <免償とは>

ヨベルの年を起源とする聖年の最大の特徴は、免償、しかもすべての償いを赦免する全免償が与えられることです。この全免償を死者のために受けられることが最大の特徴です。すべての償いを一気になくす全免償については次のように定められています。受けられるのは1日に1回のみ。そのための条件として、信者は恵みの状態にある(大罪の状態にない)ことが必要とされ、さらに次の条件を満たしていなければなりません。①どんな小さな罪をも避ける決心を持ち、全免償を受けたいとの望みを持つこと。②ゆるしの秘跡に与ること。③聖体拝領をすること。④教皇の意向のために祈ること。

これらの条件を満たした上で、全免償のために規定された行いをするによって、自分あるいは死者のための全免償を受けられます。全免償を譲り受けた死者は、すぐに天国に行けるといわれています。



「聖年」についての詳細、全文は教区 HP をご覧ください。

2箇所  
開催

### 2025年 聖年開幕ミサ

<日時> 2024年  
12月29日(日)13時~  
<場所>

- 司教座聖堂(玉造教会)
- 共同司教座聖堂(桜町教会)

開幕ミサの後、玉造、桜町それぞれの教会でコンサートが開催されます。



### 2025年 聖年閉幕ミサ

2025年  
12月28日(日)

詳細は決まり次第お知らせします。

スケジュールは随時発表されます